

2004年第39週報告分

- 発生動向の概況
- 定点医療機関からのコメント
- 全数届出患者報告数
- 五類定点患者報告数
- 疾病別グラフ(五類定点週報告分)
- 病原体検出情報(表・グラフ)
流行性角結膜炎
- 年齢階級別報告数
- 保健所別報告数
- 保健所別報告数(定点当たり)
- 感染症豆知識
レジオネラ症

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/

(全数報告の疾患)

- ・コレラが1件報告された。検出菌の菌型はO1エルトル小川型で、推定感染地はフィリピンである。
- ・細菌性赤痢が5件報告された。検出菌はいずれもソネ菌(推定感染地:ポルトガル2件、インド、ケニア、モロッコ各1件)で、ポルトガルの2件は同行者からの発生である。
- ・パラチフスが1件報告された。推定感染地はインドである。
- ・腸管出血性大腸菌感染症が7件報告された。検出菌の血清型はO157(VT2産生株3件、VT1 & VT2産生株1件)が4件、O115(VT2産生株)が1件、O111(VT1 & VT2産生株)が1件、不明(VT陽性)が1件である。O157(VT2産生株)の2件は、それぞれ38週の家族検便で判明している。血清型不明例は0歳女児で、HUSを併発している。
- ・オウム病が1件報告された。推定感染地は国内で、ペットのインコからの感染が疑われている。発熱、頭痛、咳を呈している。
- ・マラリアが1件報告された。三日熱マラリアで、推定感染地はパプアニューギニアである。
- ・アメーバ赤痢が1件報告された。推定感染地は国内で、推定感染経路は異性間性的接触である。
- ・クロイツフェルト・ヤコブ病が1件報告された。臨床決定の孤発例である。推定感染地は国内で、感染経路は不明である。
- ・HIV感染症が8件報告された。無症候性キャリア7件、AIDS1件で、推定感染経路は同性間性的接触6件、異性間性的接触1件、不明1件である。
- ・梅毒が2件報告された。早期顕症梅毒I期、晩期顕症梅毒が各1件で、推定感染経路はいずれも異性間性的接触である。
- ・バンコマイシン耐性腸球菌感染症が1件報告された。検出菌の遺伝子型はVanAで、74歳女性の尿から検出されている。

(推定される感染地は医師の届出によるものです)

(定点報告の疾患)

- ・流行性耳下腺炎が昨年同時期と比べ高い水準で推移している。

(検出された病原体)

- ・急性咽頭炎1名、アデノウイルス感染症1名の咽頭拭い液からアデノウイルス3型が分離された。手足口病1名の髄液からもアデノウイルス3型が分離されている。
- ・無菌性髄膜炎1名の咽頭拭い液からコクサッキーウイルスB群1型が分離された。
- ・無菌性髄膜炎1名の髄液からコクサッキーウイルスB群1型の、もう1名の咽頭拭い液からライノウイルスの遺伝子が検出された。
- ・川崎病1名の咽頭拭い液からライノウイルスの遺伝子が検出された。

- ・突発性発しん1名の咽頭拭い液からポリオウイルス1型の遺伝子が検出された。
- ・仮性クレープ1名の咽頭拭い液からパラインフルエンザとヒトヘルペスウイルス6型の遺伝子が検出された。
- ・扁桃腺炎1名の咽頭拭い液からヒトヘルペスウイルス6型・7型の遺伝子が検出された。
- ・ヘルパンギーナ1名の咽頭拭い液からもヒトヘルペスウイルス6型の遺伝子が検出された。
- ・肺炎1名の咽頭拭い液からサイトメガロウイルスの遺伝子が検出された。
- ・菌株で搬入されたMSSA1株のコアグラーゼ型はⅢ型であった。
- ・溶血性レンサ球菌感染疑い患者1名の咽頭拭い液からコアグラーゼV型のMSSAが検出された。
- ・性感染症定点等から搬入された血清等16件中8件からクラミジア・トラコマチス特異抗体が検出された。
- ・性感染症定点等から搬入された頸管拭い液4件中2件からヒトパピローマウイルス遺伝子が検出された。
- ・多摩地区の定点から搬入された感染性胃腸炎1名の糞便からアデノウイルス1型が分離された。
- ・多摩地区の定点から搬入された感染性胃腸炎1名の糞便からカンピロバクターが検出された。

定点医療機関からのコメント

今週は、定点医療機関からのコメントはありませんでした。

全数届出患者報告数 2004年 39週

分類	疾病名	東京都分(報告週)				全国分(診断週)		
		36週	37週	38週	39週	年累計	39週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ			1	1	9	3	68
	細菌性赤痢	7	6	3	5	97	18	435
	ジフテリア							
	腸チフス	1	1	1		13		50
パラチフス				1	14	4	65	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	15	6	6	7	227	68	2987
四類	E型肝炎			1		3	(1)	(22)
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1			19	(3)	(110)
	エキノコックス症							22
	黄熱							
	オウム病				1	3		33
	回帰熱							
	Q熱					1		6
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症							3
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病					5		99
	デング熱	2	3			22		34
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						2	44
	日本脳炎							3
	ハンタウイルス肺症候群							
Bウイルス病								
ブルセラ症								
発しんチフス								
ボツリヌス症								
マラリア	1		1	1	18	1	50	
野兔症								
ライム病							3	
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症			1		13	2	103	
レプトスピラ症			1		3	(1)	(6)	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	2	1		1	102	3	431
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)		1	4		44	1	211
	急性脳炎	1				5		(48)
	クリプトスポリジウム症					7	1	88
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	1	1	14		121
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					5		44
	後天性免疫不全症候群	5	5	11	8	323	15	835
	ジアルジア症					17	2	65
	髄膜炎菌性髄膜炎		1			5		19
	先天性風しん症候群					3		5
	梅毒		1	2	2	49	1	365
	破傷風					1	3	71
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2		1	9		46	

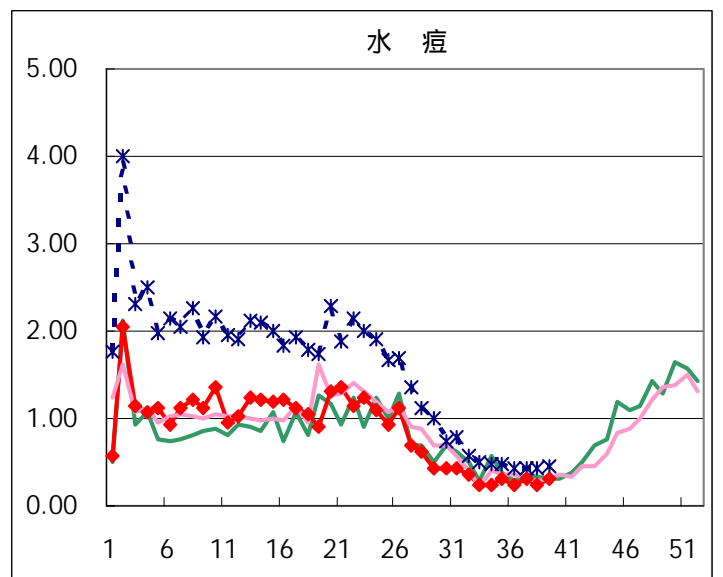
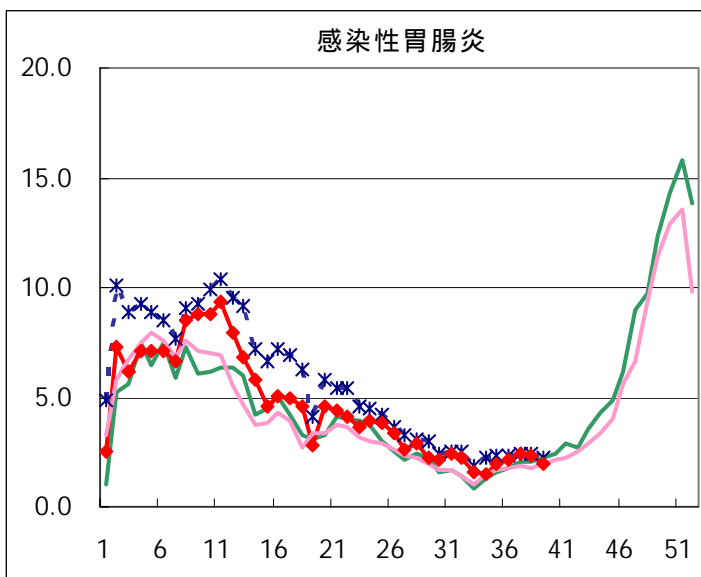
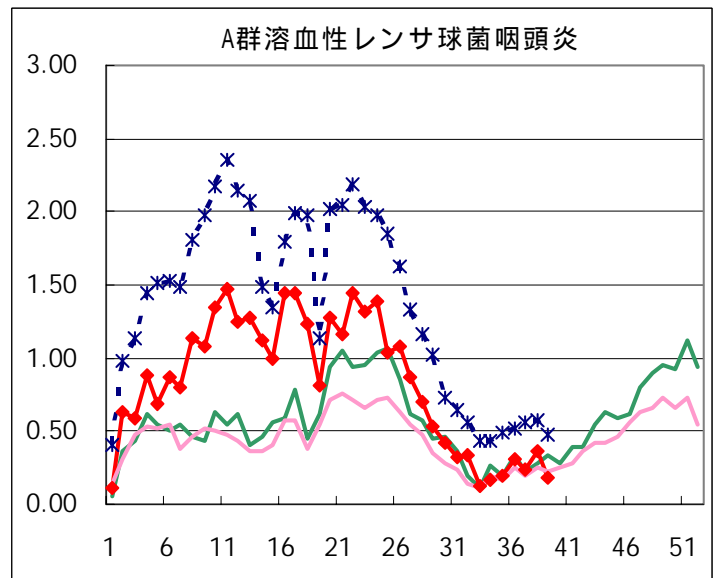
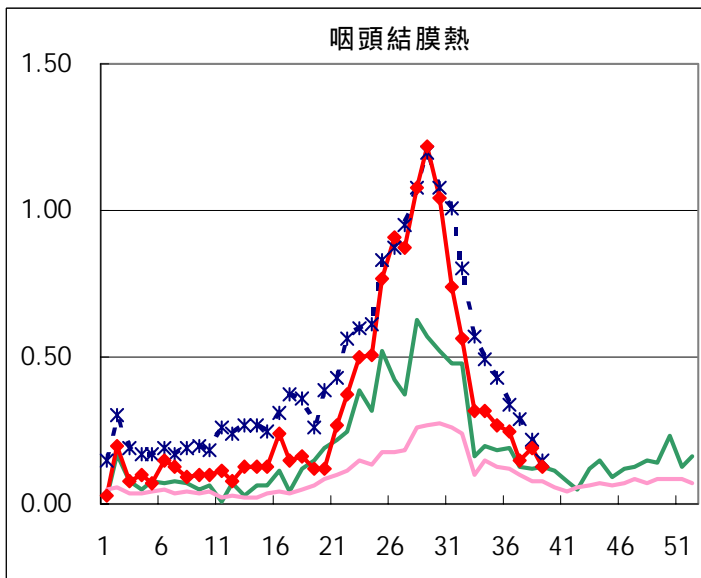
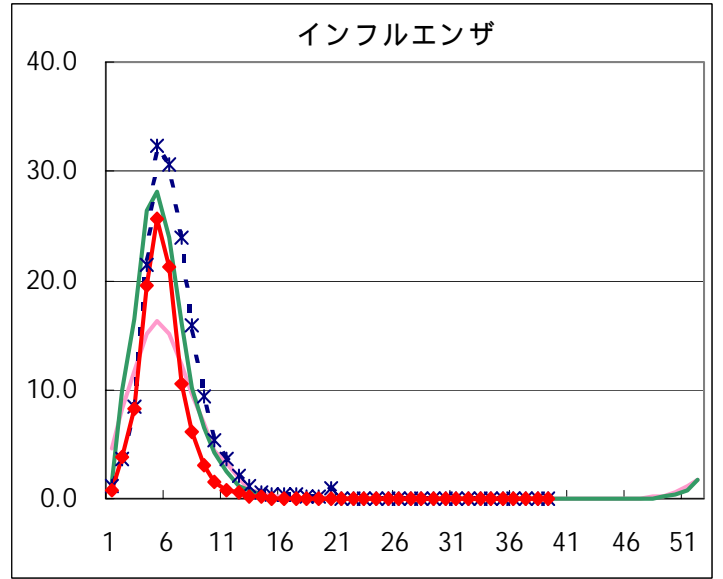
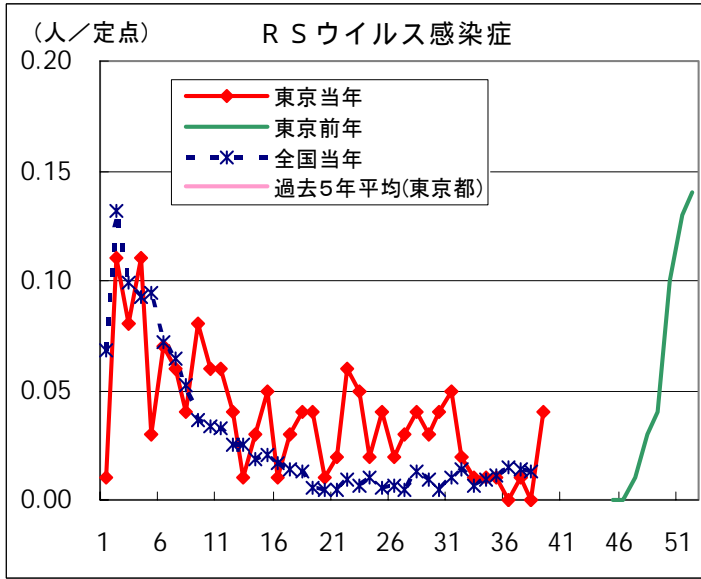
2004/10/5集計(カッコ内の数値は前週分である)。

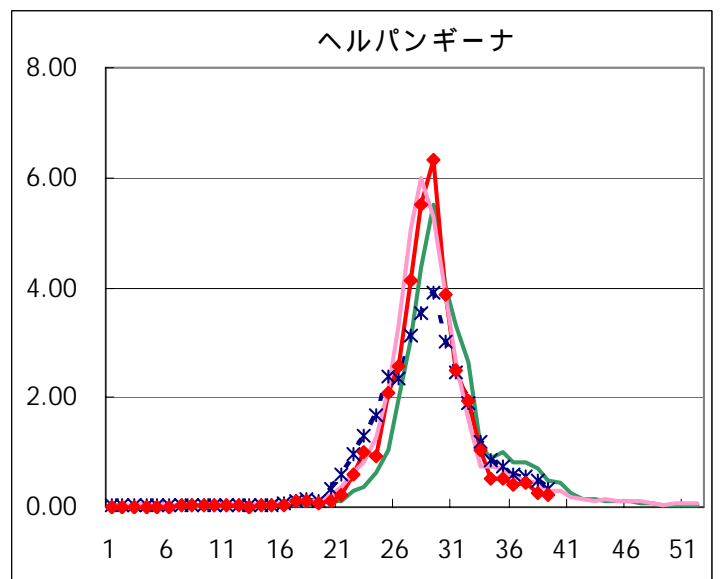
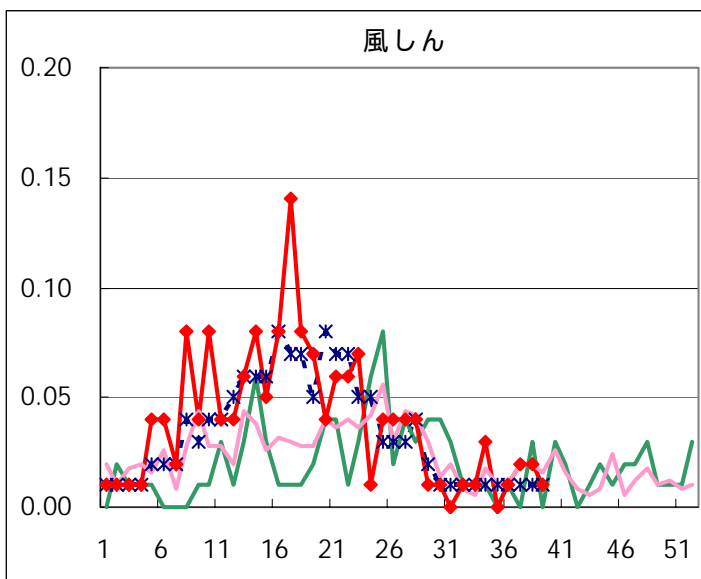
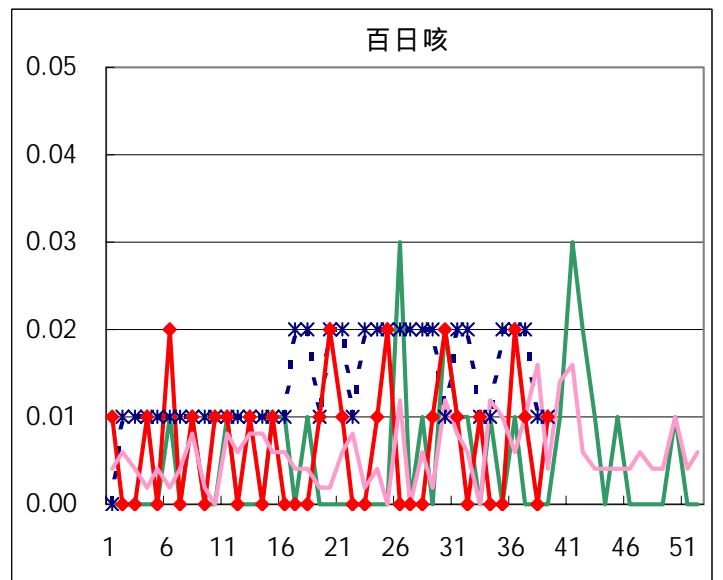
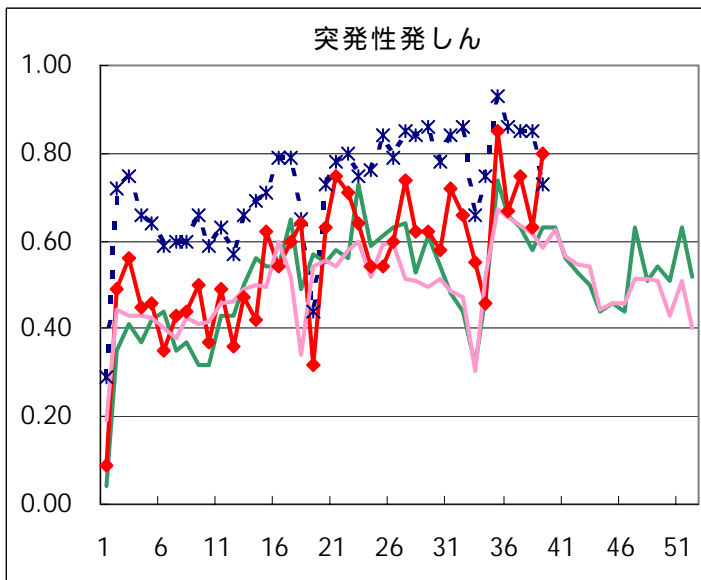
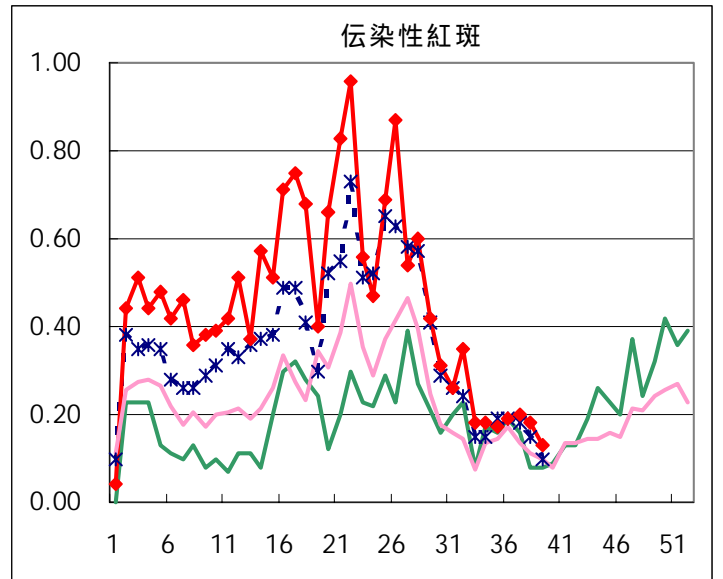
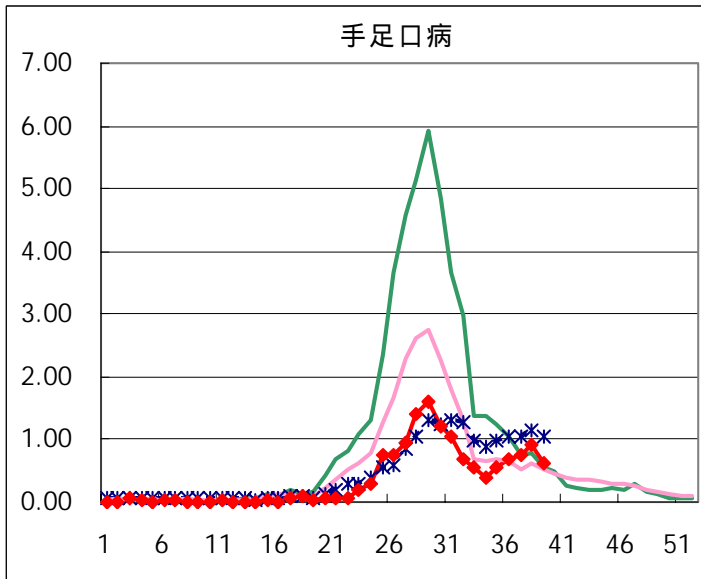
五類定点患者報告数(男女別)

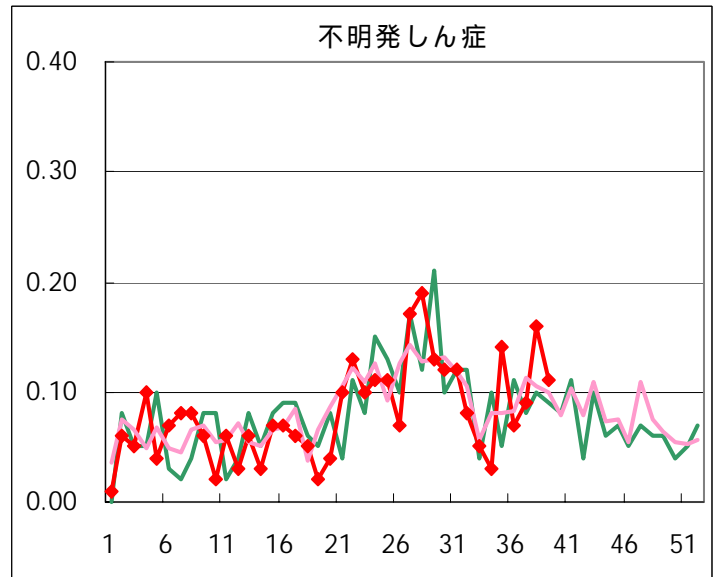
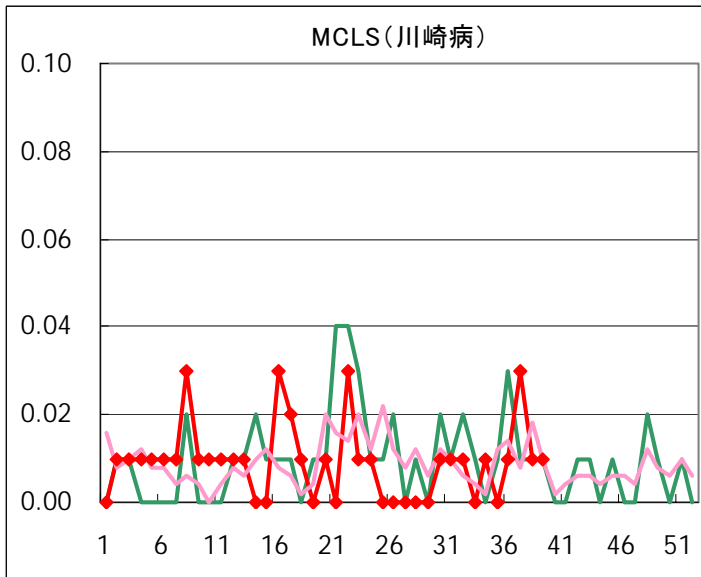
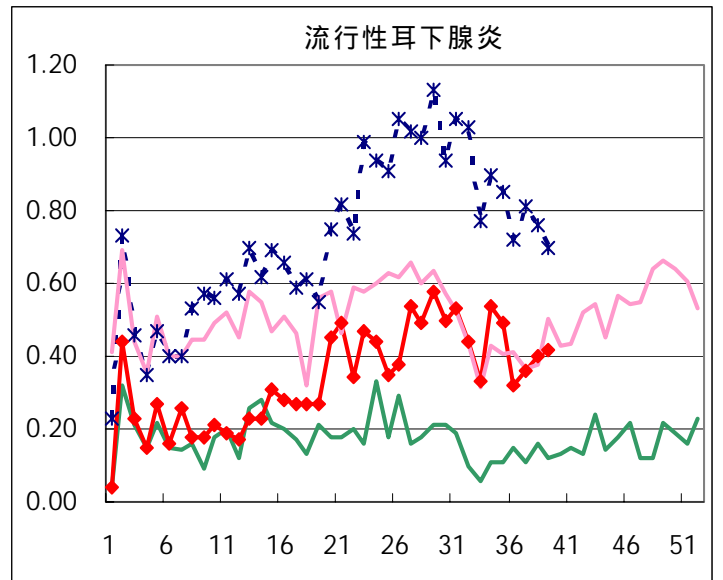
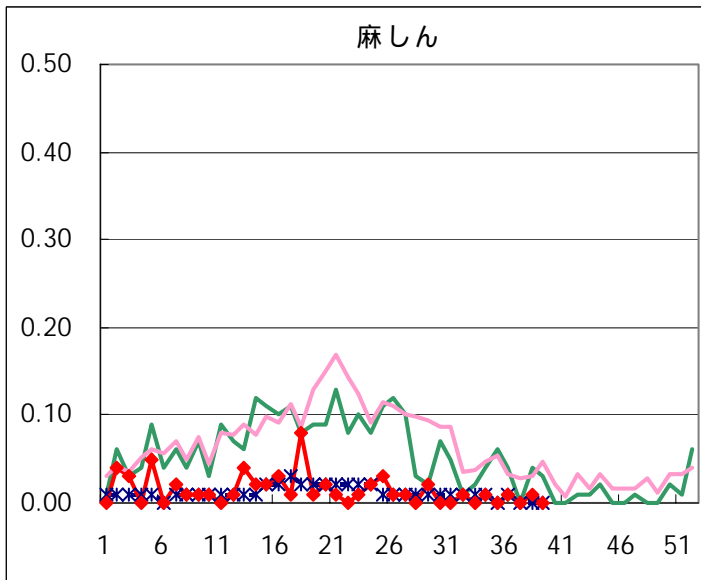
疾病名	性	2004年				4週合計	年累計
		36	37	38	39		
RSウイルス感染症	男				2	2	114
	女		1		3	4	92
インフルエンザ	男						9,163
	女						9,022
咽頭結膜熱	男	20	11	14	8	53	986
	女	16	11	13	11	51	852
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	26	17	26	15	84	2,476
	女	18	17	27	10	72	2,148
感染性胃腸炎	男	150	179	177	147	653	13,124
	女	150	162	148	125	585	12,225
水痘	男	20	22	16	19	77	2,632
	女	13	22	19	23	77	2,301
手足口病	男	63	54	76	43	236	1,092
	女	36	54	55	45	190	901
伝染性紅斑	男	12	13	10	8	43	1,200
	女	15	16	15	10	56	1,300
突発性発しん	男	48	56	47	56	207	1,576
	女	47	50	42	58	197	1,503
百日咳	男	1				1	16
	女	2	1		1	4	17
風しん	男	1	1	2	2	6	122
	女		2	1		3	97
ヘルパンギーナ	男	30	30	22	14	96	2,632
	女	30	34	15	16	95	2,463
麻しん(成人麻しんを除く)	男			2		2	36
	女	1				1	33
流行性耳下腺炎	男	15	30	29	31	105	1,031
	女	31	21	28	28	108	846
不明発しん症	男	5	8	12	3	28	219
	女	5	5	11	13	34	224
MCLS	男	1	1		1	3	22
	女		3	1		4	25
急性出血性結膜炎	男						2
	女						3
流行性角結膜炎	男	9	14	7	7	37	315
	女	12	3	9	6	30	269
細菌性髄膜炎	男	1		1		2	9
	女						2
無菌性髄膜炎	男		1			1	12
	女				1	1	17
マイコプラズマ肺炎	男				1	1	43
	女	2	2	1	1	6	45
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男						1
	女						2
成人麻しん	男		1			1	9
	女		1			1	6

疾病別グラフ(五類定点週報告分)

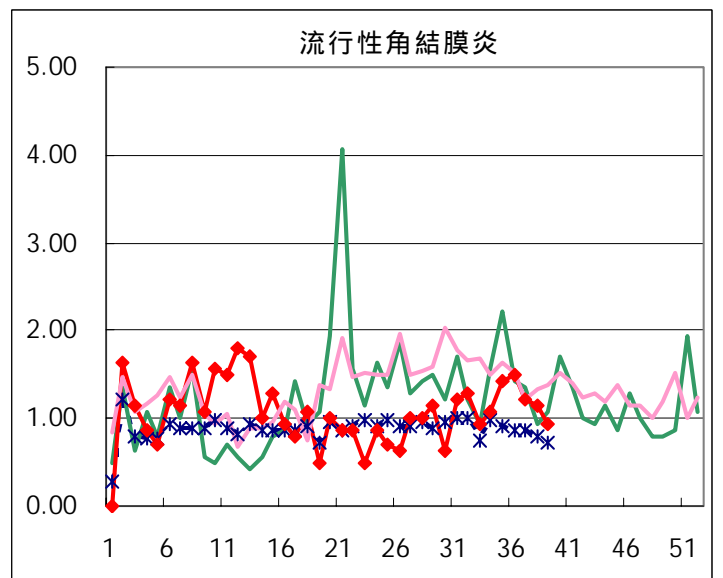
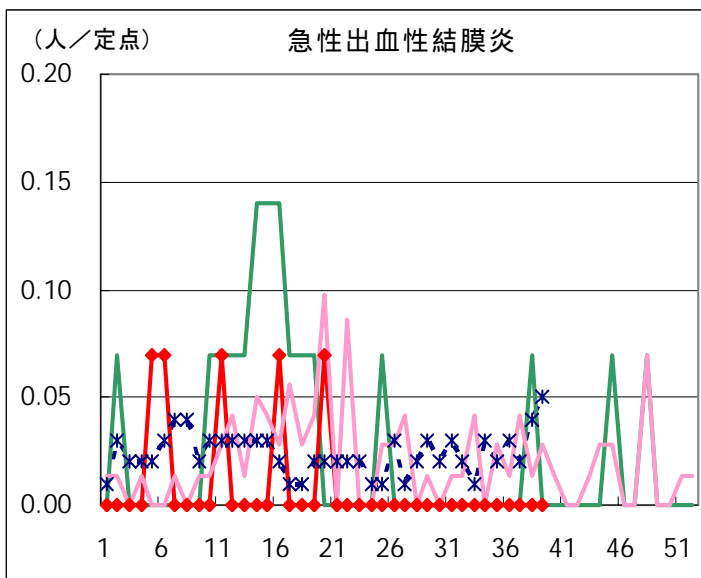
◆ 小児科・インフルエンザ定点



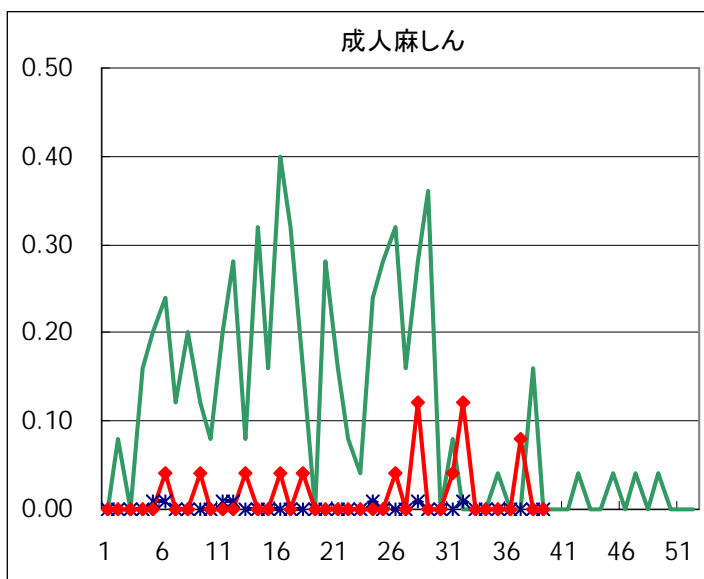
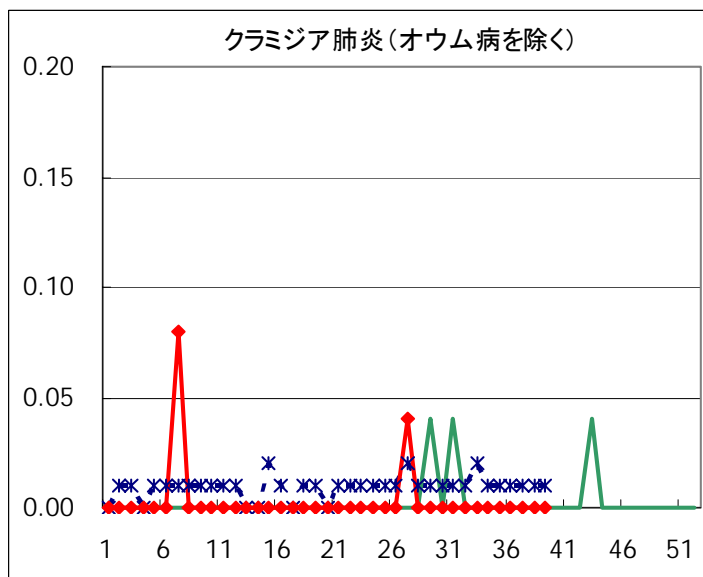
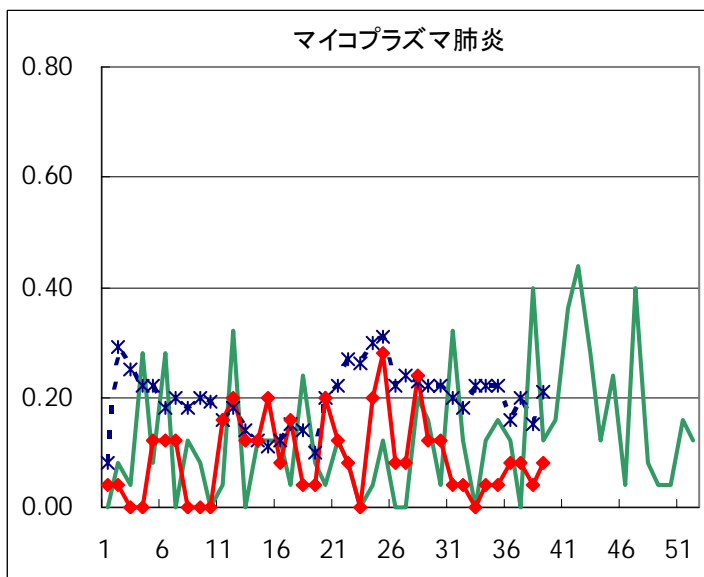
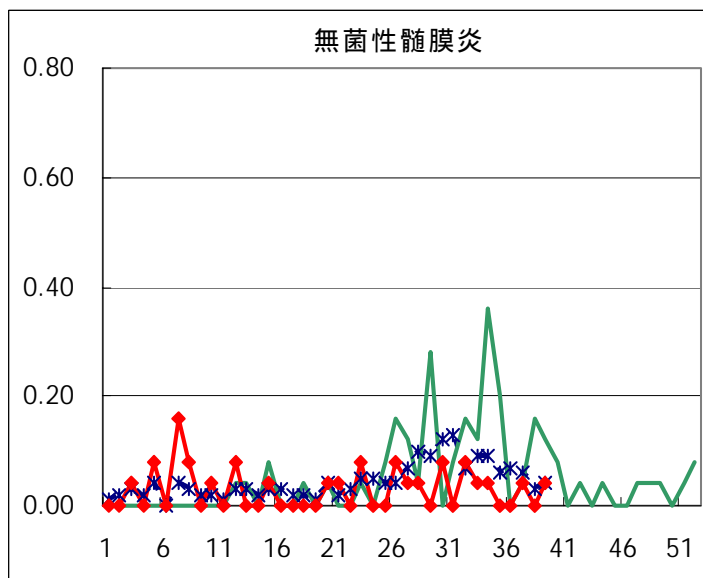
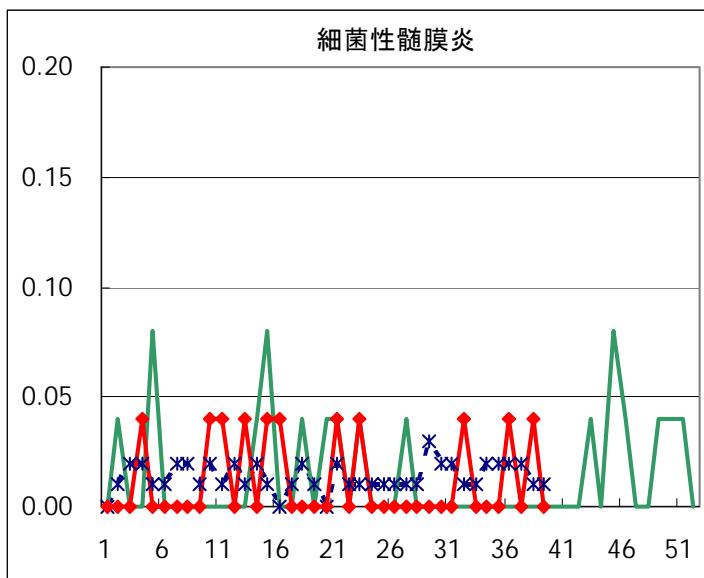




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週報告分)		
定点種別	疾 病	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼 科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基 幹	細菌性髄膜炎	25
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻しん	
小児科	上記を除く疾病	142

病原体検出情報

週別病原体・抗体検出結果(2004年32週～39週)

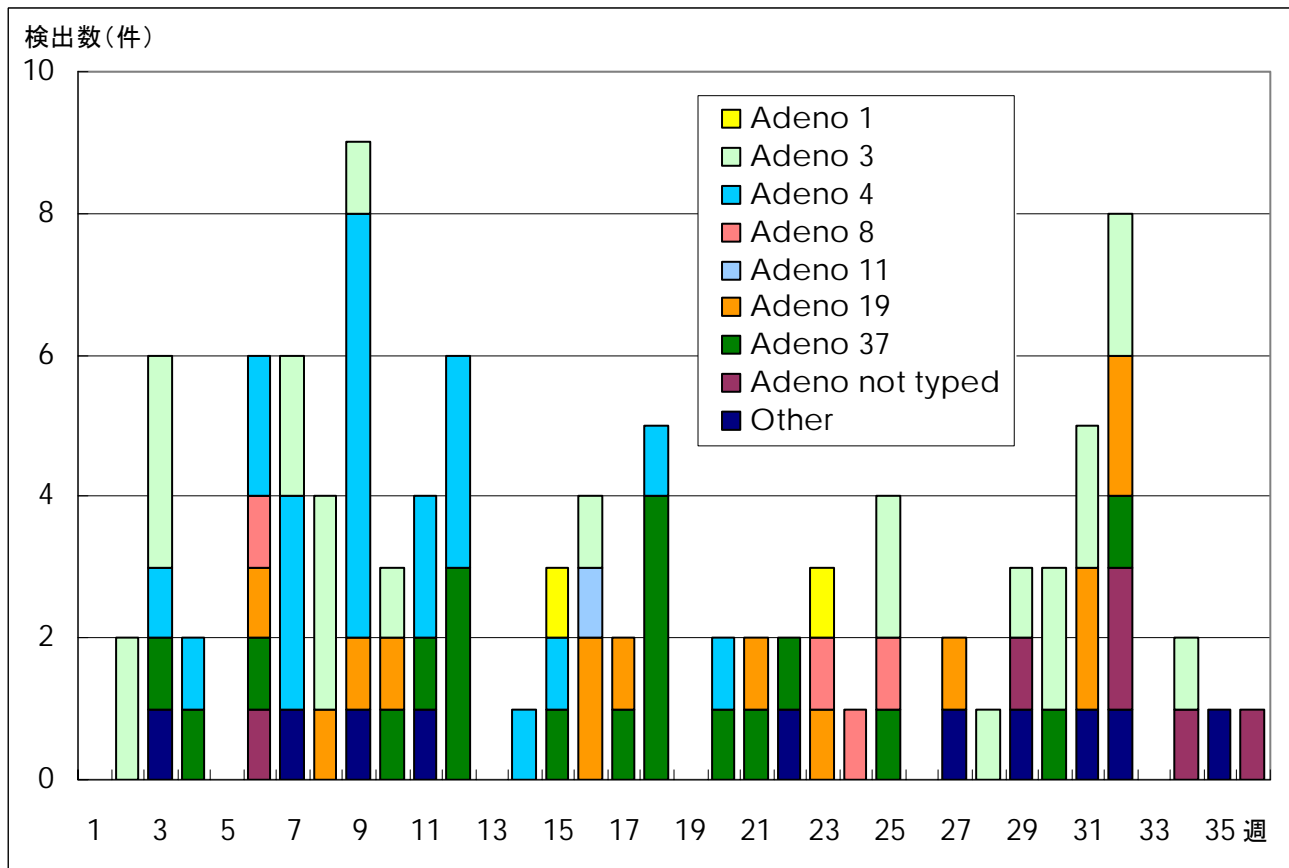
検出病原体・抗体		検体採取週								合計
		2004年								
		32	33	34	35	36	37	38	39	
ウイルス	インフルエンザAソ連型									
	インフルエンザA香港型									
	インフルエンザB型									
	RSV									
	アデノ	6		5	7	3	5	7		33
	エンテロ	5	4	10	6	5	3	1	1	35
	ノロ		9	1						10
	ロタ									
	単純ヘルペス		1			1				2
	水痘・帯状疱疹									
	EBV						1			1
	CMV	1			1		1	1	1	5
	HHV6/7	1	1	4	2	2	1	2	3	16
	ムンプス	1				1				2
	麻疹									
	パルボB19						1			1
	分離型別・遺伝子型別	ポリオ1							1	1
		ポリオ2								
		アデノ1				1				1
		アデノ2								
		アデノ3			1	3				4
		エコー13								
		エンテロ71								
コクサッキーA6										
抗体	ライノ		1					2	3	
	デング		1	1	3		2		7	
細菌	ツツガムシ									
	カンピロバクター							1	1	
	サルモネラ									
	下痢原性大腸菌			2	2	1	1		6	
	エロモナス									
	O157									
	MRSAコアグラウゼⅠ型					1	1		2	
	MRSAコアグラウゼⅡ型	2	4	7	2		2		17	
	MRSAコアグラウゼⅢ型			1		4			5	
	MSSAコアグラウゼⅤ型		1						1	
	溶連菌T-1型					2			2	
	溶連菌T-3型									
	溶連菌T-4型		1	1		1			3	
	溶連菌T-6型									
	溶連菌T-12型		2			1			3	
	溶連菌T-22型									
溶連菌T-25型		2						2		
溶連菌T-28型					1			1		
溶連菌UT										
性感染症	梅毒	1	1		1			1	4	
	クラミジア抗体	10	13	17	12	24	20	25	8	129
	クラミジア遺伝子		1				1			2
	淋菌遺伝子		1		1					2
	パピローマ	2	2		3	3	2	2	2	16

臨床診断名別病原体検出結果（2004年32週～39週）

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ (インフルエンザを含む)	上気道炎	下気道炎	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	脳炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	発疹症	流行性耳下腺炎	口内炎	水痘	その他	合計
インフルエンザAソ連型																	
インフルエンザA香港型																	
インフルエンザB型																	
RSV																	
アデノ		12	3	1		1						6	1			9	33
アデノ1		1															1
アデノ2																	
アデノ3		3							1								4
エンテロ		5	3			3	12		1	1		9				1	35
エコー13																	
コクサッキーA6																	
ポリオ1												1					1
ポリオ2																	
ムンプス													1			1	2
ノロ						10											10
ロタ																	
単純ヘルペス								1									2
水痘・带状疱疹しん																	
パルボB19												1					1
カンピロバクター						1											1
サルモネラ																	
下痢原性大腸菌						6											6

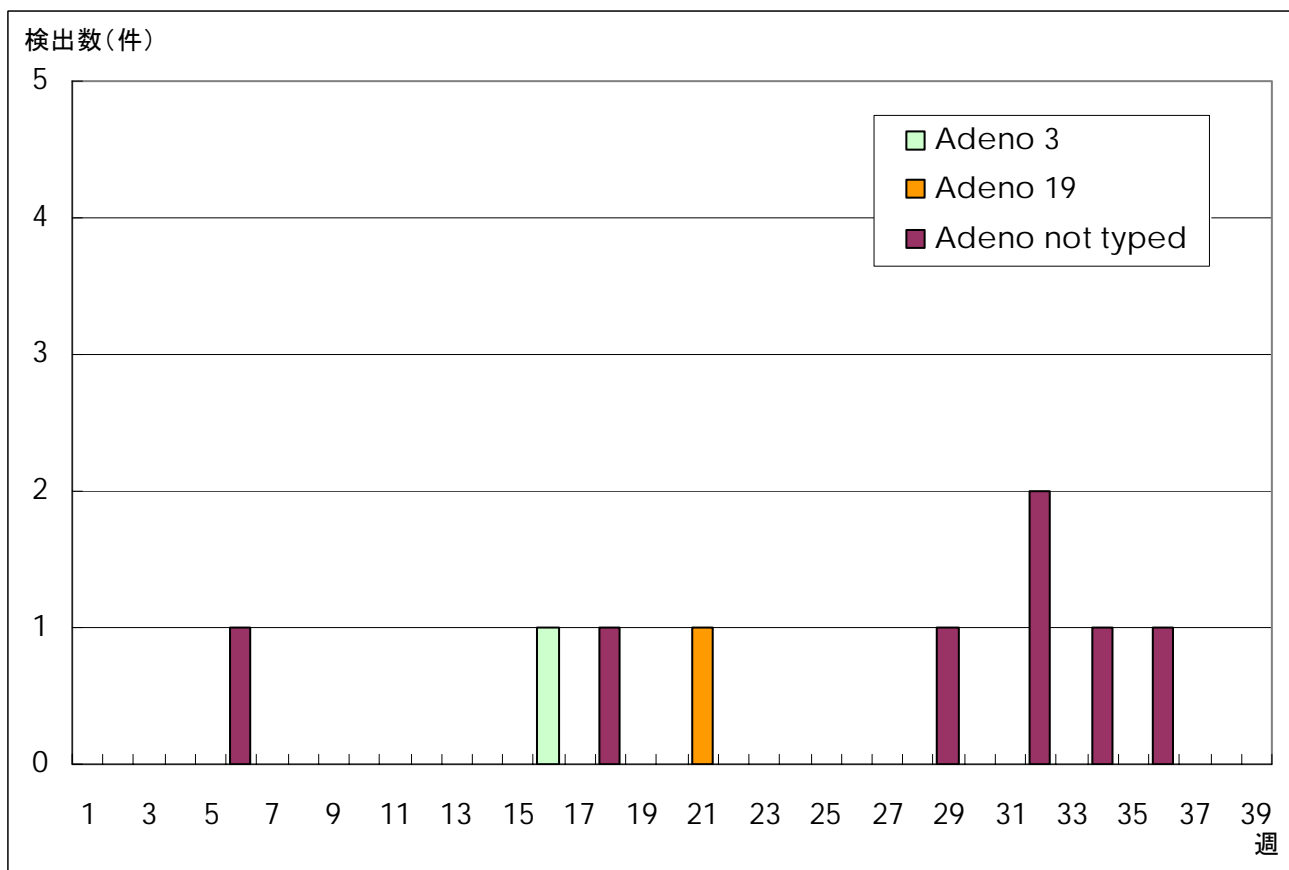
病原体グラフ (流行性角結膜炎)

流行性角結膜炎患者から検出されたウイルス (全国)



JASR 病原微生物検出情報(2004年9月24日現在報告数)

流行性角結膜炎患者から検出されたウイルス (東京都)



微生物部ウイルス研究科

年齢階級別報告数 2004年 39週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月					15	1			7
～1歳			1		16	3	6		70
1歳			1		41	6	19	2	31
2歳			3		31	6	17	1	4
3歳			2	2	20	9	14	3	
4歳			4	5	24	5	10	4	1
5歳			2	5	23	4	8	3	
6歳			2	4	17	5	8	1	1
7歳			1	1	8			4	
8歳			1	1	8				
9歳				2	9	2	4		
10～14歳				1	21	1	2		
15～19歳				1	9				
20～29歳	5		2	3	30				
30～39歳									
40～49歳									
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	5	-	19	25	272	42	88	18	114
先週比	5	0	-8	-28	-53	7	-43	-7	25

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～6ヶ月	1		1					2	
～1歳			3					3	
1歳		1	3					5	
2歳			8		4			2	
3歳			1		10		1	2	
4歳			2		12				
5歳			4		12			2	
6歳		1			8				
7歳			1		4				
8歳			3		3				
9歳			1		1				
10～14歳			1		1				1
15～19歳					2		1		
20～29歳			2		2		4		
30～39歳							5		
40～49歳							1		
50～59歳							1		
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	1	2	30	-	59	-	13	16	1
先週比	1	-1	-7	-2	2	0	-3	-7	0

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別報告数 2004年 39週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田										
中央区					9	3	1	1	9	
みなと	5		2	5	13	1			1	
新宿区				1	16		1		1	
文京					3		1			
台東					8	2	9		2	
墨田区			1	2	5	1		1	1	
江東区					7	2	2		4	
品川区					12	1	5		2	
目黒区				1				1		
大田区			2	3	27	5	5	1	11	
世田谷区					19	1	13		6	
渋谷区			2	1	7				3	
中野区			2	2	21		3		2	1
杉並			3	2	12				2	
池袋							3		3	
北区				3	14	1	7	2	6	
荒川区			2		6	1	4			
板橋区			2		4		2		1	
練馬区			1	1	4	3	6	1	3	
足立					5	5	6		1	
葛飾					7	1	2	1	11	
江戸川			1	1	5	2	2	1	2	
西多摩			1	1	12	1	3	1	4	
八王子					5	2			3	
南多摩					7		9	3	7	
町田				1	5	2		2	2	
多摩立川					7				3	
多摩府中				1	11	3	4	2	14	
多摩小平					21	5		1	10	
島しょ										

東京都合計	5	-	19	25	272	42	88	18	114	1
定点当り報告数	0.04	-	0.13	0.18	1.92	0.30	0.62	0.13	0.80	0.01

保健所別報告数 2004年 39週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻し んを除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田		1					1		2
中央区				3					26
みなと	1			2		3			33
新宿区		2		1		5	1		28
文京				2		2			8
台東				1					22
墨田区				4			1		16
江東区				1		1			17
品川区				1					21
目黒区		3		1					6
大田区		3					2		59
世田谷区		2		6			1		48
渋谷区	1			2					16
中野区							2		33
杉並		1							20
池袋						1			7
北区				1					34
荒川区		1		5		1			20
板橋区				1					10
練馬区				3			2		24
足立				3					20
葛飾		1		1			2		26
江戸川		2		1					17
西多摩		3		3					29
八王子				1					11
南多摩		2		2			1		31
町田		4		3					19
多摩立川				5			2	1	18
多摩府中		1		3					39
多摩小平		4		1			1		43
島しょ				2					2

東京都合計	2	30	-	59	-	13	16	1	705
定点当り報告数	0.01	0.21	-	0.42	-	0.93	0.11	0.01	

保健所別報告数(定点当たり) 2004年39週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜炎	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田										
中央区					3.00	1.00	0.33	0.33	3.00	
みなと	0.83		0.33	0.83	2.17	0.17			0.17	
新宿区				0.17	2.67		0.17		0.17	
文京					1.00		0.33			
台東					2.67	0.67	3.00		0.67	
墨田区			0.33	0.67	1.67	0.33		0.33	0.33	
江東区					2.33	0.67	0.67		1.33	
品川区					2.00	0.17	0.83		0.33	
目黒区				0.33				0.33		
大田区			0.22	0.33	3.00	0.56	0.56	0.11	1.22	
世田谷区					2.38	0.13	1.63		0.75	
渋谷区			0.50	0.25	1.75				0.75	
中野区			0.33	0.33	3.50		0.50		0.33	0.17
杉並			0.50	0.33	2.00				0.33	
池袋							0.60		0.60	
北区				0.75	3.50	0.25	1.75	0.50	1.50	
荒川区			1.00		3.00	0.50	2.00			
板橋区			0.33		0.67		0.33		0.17	
練馬区			0.20	0.20	0.80	0.60	1.20	0.20	0.60	
足立					1.25	1.25	1.50		0.25	
葛飾					1.75	0.25	0.50	0.25	2.75	
江戸川			0.25	0.25	1.25	0.50	0.50	0.25	0.50	
西多摩			0.20	0.20	2.40	0.20	0.60	0.20	0.80	
八王子					2.50	1.00			1.50	
南多摩					2.33		3.00	1.00	2.33	
町田				0.50	2.50	1.00		1.00	1.00	
多摩立川					1.17				0.50	
多摩府中				0.10	1.10	0.30	0.40	0.20	1.40	
多摩小平					3.50	0.83		0.17	1.67	
島しょ										

東京都合計	5	-	19	25	272	42	88	18	114	1
定点当り報告数	0.04	-	0.13	0.18	1.92	0.30	0.62	0.13	0.80	0.01

保健所別報告数(定点当たり) 2004年39週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻し んを除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田		0.25					0.25	
中央区				1.00				
みなと	0.17			0.33		3.00		
新宿区		0.33		0.17		2.50	0.17	
文京				0.67		2.00		
台東				0.33				
墨田区				1.33			0.33	
江東区				0.33		1.00		
品川区				0.17				
目黒区		1.00		0.33				
大田区		0.33					0.22	
世田谷区		0.25		0.75			0.13	
渋谷区	0.25			0.50				
中野区							0.33	
杉並		0.17						
池袋						1.00		
北区				0.25				
荒川区		0.50		2.50		1.00		
板橋区				0.17				
練馬区				0.60			0.40	
足立				0.75				
葛飾		0.25		0.25			0.50	
江戸川		0.50		0.25				
西多摩		0.60		0.60				
八王子				0.50				
南多摩		0.67		0.67			0.33	
町田		2.00		1.50				
多摩立川				0.83			0.33	0.17
多摩府中		0.10		0.30				
多摩小平		0.67		0.17			0.17	
島しょ				2.00				

東京都合計	2	30	-	59	-	13	16	1
定点当り報告数	0.01	0.21	-	0.42	-	0.93	0.11	0.01

<感染症豆知識>

レジオネラ症

レジオネラ症はレジオネラ属菌による感染症である。レジオネラ属菌は本来普通に存在する土壌細菌であるが冷却塔、給湯器、循環式浴槽水に生息するアメーバの中で増殖する。これらの水から発生したエアロゾルを吸入することで経気道感染する。感染源で多いのは温泉、入浴施設、24時間風呂である。季節性なく発生し、男性に3倍多く、高齢者、新生児、免疫力の低下した者がリスクグループである。レジオネラ症には①肺炎型と②ポンティアック熱型の2つの病型がある。レジオネラ肺炎に特有の症状はなく他の肺炎との鑑別は難しい。全身倦怠、頭痛、筋肉痛などの症状で始まり、乾性咳、高熱、悪寒、胸痛が見られるようになり呼吸困難に至る。重症例では傾眠、昏睡、幻覚、四肢の振戦などの神経症状が現れる。致死率は約15%である。胸部X線所見は肺胞性陰影で進行が速い。ポンティアック熱は吸入したレジオネラ抗原に対する免疫反応の一部と考えられ、突然の発熱、悪寒、筋肉痛で始まるが一過性で治癒する。散发例の診断は困難で届出患者のほとんどは肺炎型である。病原診断は尿中抗原の検出、病原体遺伝子の検出、菌の分離、血清抗体の検出によるが、尿中抗原検出が簡便で迅速である。治療はレジオネラ属菌は細胞内寄生細菌なので、宿主細胞に浸透するエリスロマイシン、リファンピシン、ニューキノロンなどを投与する。有効な治療薬の投与がなされない場合7日以内に死亡する場合が多い。本症は全数届出疾患であるので、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出る。

(文責・関根 大正)